

総合評価落札方式を活用したICT活用 工事(浚渫工)の試行について

九州地方整備局 港湾空港部

平成29年4月

総合評価落札方式を活用したICT活用工事(浚渫工)の試行について

ICT活用工事(浚渫工)は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICTの全面的活用を図るため、起工測量、数量計算、出来形測量、検査及び工事完成図書及び関係書類について3次元データを活用する工事であり、平成29年度契約(工事)の一部において試行します。

発注方式は、発注者指定型と施工者希望型があり、総合評価落札方式を活用したICT活用工事は施工者希望型をいいます。

■総合評価落札方式を活用したICT活用工事(浚渫工)[施工者希望型]

ICT活用工事(施工者希望型)では、総合評価落札方式において、競争参加者が「ICT活用工事」を希望する場合、ICT活用工事計画書を提出し、ICT活用の計画について評価します。

評価項目及び評価基準

	評価項目	評価内容	評価基準	加算点
企業の施工能力	ICT活用工事 (ICTの活用計画)	「①3次元起工測量」、 「②3次元数量計算」、 「③3次元出来形測量」、 「④3次元データの納品」 の全ての段階で全面的にICTを活用	・①～④の全ての段階で全面的に活用する場合	1点
			・①～④の全ての段階で全面的に活用する計画ではない場合 ・活用しない場合	0点

※不履行となった場合は、請負工事成績評定を最大5点減点する。

【参考】国土交通省港湾局プレス資料(<http://www.mlit.go.jp/common/001178021.pdf>)

「平成29年度からICT活用工事(浚渫工)を導入します
～ICT活用工事(浚渫工)の導入のための新たな基準の策定～」